

現状の課題の整理

- まち側の玄関口としての整備
- 利用しやすい交通結節点の整備
- 来訪者と町民の交流の空間の創出
- 飲食・物販機能の充実

ターミナル前の道路で分断されている港側とまち側をどうつなぐか、バス、タクシー、一般車など利用しやすい交通の結節点のあり方はどうあるべきか。子育て世代や学生、高齢者の方が海に見える良好な環境の玄関口でふれあえる空間とはどのような場とすべきかなど、課題を整理しました。



意見交換会での主な意見

【防災】

- ・まちづくりには防災の視点を含めて考える必要がある。これは住民だけでなく観光の立場としても重要
- ・観光客もターゲットにした防災マップなどの設置が必要

【交通】

- ・バスで移動しようとするのが分かりにくい。ターミナルエリアを結節点としたバス路線の変更が必要
- ・駐車場は玄関口を訪れる方の目的にあわせて駐車スペースなどを検討していく
- ・歩きたくなるまちづくりとして豊かな空間としていく

【景観】

- ・せっかく海が見える場所であるので自然を感じることができるとしたい
- ・港の景観に配慮しながらターミナルエリアの規模を検討してほしい

【観光】

- ・観光客は隠岐らしさを求めている。ゆったりとした時間の過ごし方など。
- ・ターミナルエリアは観光客にとって商業との関係だけでなく、町民とのふれあいの場ともなりえる
- ・ターミナルエリアを訪れるターゲットは観光客とするのか、町民と観光客は別で考えるべきではないか
- ・ジオパーク拠点施設の利用者との動線を考えたエリア整備してほしい

【商業】

- ・飲食店は現在の店と新規の店で消費が選べる楽しさのある空間としたい
- ・現在の老舗の継承もあり、店舗数が減らないよう新規参入の出来る商業の場として考えるてほしい

【交流その他】

- ・ポートプラザ1・2階の活用は、物販や交流の機能を工夫しながら検討する
- ・既存の施設を活かした海の駅など、食を楽しめる場をつくるべき
- ・今後具体的な検討に入ると思うが、住民の意見をしっかり聞いて進めてほしい

12/26 第2回意見交換会のご案内

(土)

【時間】19:00～20:30 【場所】ビューポートホテル2階ホール

第1回ターミナルエリア整備のための意見交換会を行いました

～みちがえるまちづくり 都市再生整備計画づくり～

第1回のターミナルエリア整備のための意見交換会は、令和2年11月6日（金）に夜の部19時00分からと、翌日11月7日（土）に昼の部13時00分からに分けてビューポートホテル2階ホールで行いました。

中町の町民の方をはじめ関係機関や団体の方々計53名が参加しターミナルエリア整備についての様々な意見が出されました。



人と交通の流れを演出する空間機能のデザインの検討

みちがえるまちづくりの目標

- 人と車の流れを変える（みちがえる）ことにより西郷港エリアのにぎわいを取りもどす

4つのまちとターミナルエリアをつなぐ

- 人が歩いて楽しめる流れをつくりだす

隠岐の島町全体とターミナルエリアとの関係

- 隠岐の島町の内外をつなぐ円滑な交通の流れをつくりだす

ターミナルエリアは隠岐の島町全体にとっての心肺です。

心肺から全島に活力を送り出すためにはターミナルエリアを核とする西郷港玄関口が元気でなければなりません。西郷港玄関口の元気を取りもどすと共に、隠岐の島町全体に人・もの・情報を循環させるターミナルエリアの機能はどのように考えればよいか今後もみなさんと話し合っ行ってきたいと思います。

【お問い合わせ先】 隠岐の島町建設課都市計画推進室

電話 08512-2-8580 (担当：宇野、室山)



西郷港ターミナルエリア

みちがえるまちづくり

News
1号

2020年11月発行